事業所における自己評価結果（公表）　【児童発達支援】

公表：令和6年2月26日　事業所名：　キッズサポートsorauta.

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		机上の活動の部屋と運動をする活動の部屋と用途別に分けて部屋を使用している。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		子どもの利用人数や特性に合わせた配置を心掛けている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		絵カードや写真などを使って視覚支援による構造化を図っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日、清掃や消毒作業を行い清潔を保つようにしている。	常に安全点検を行い、改修が必要な個所を見つけた場合には早急に改修や補修を行っていけるように職員間の連携や情報の共有。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			休みの職員がいても別日にも日程を設けるなどして広く職員が参画していけるように改善する。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者からの意見など職員間で情報の共有を図り、意見をもとにどのように改善するべきなのかを話し合う機会を設け改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか			オンラインなどの研修を受講することで時間に縛られずに受けられる研修などを選んで受講するようにしている。	実践に繋がるような研修を受講していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		専門の先生による発達検査を定期的に実施し、職員間でカンファレンスを行い支援について検討している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		ガイドラインの支援に必要な項目を選び、項目に沿った個別支援計画書の内容となるようにしている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		集団での活動や個別での支援が支援計画に沿った内容となるようにしている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員全員で利用曜日ごとに活動案を考えるようにしている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		同じ活動であっても内容をスモールステップで進めていけるように工夫している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		1日の中で集団の活動と個別の時間を設けている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援の前日と当日に打ち合わせをして確認をしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		午前中の児童発達支援は支援終了後に振り返りを行い、午後の放課後等デイサービスについては翌日に振り返りの時間を設ている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の記録はその日のうちに記録している。また改善すべき点は振り返り時に検証し改善できるように努めている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを行い、見 直しをしている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		子どもの状況にふさわしい者が参画できるように事前に調整している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		定期的に各関係機関と連携し、情報の共有を図るようにしている。	
	23	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○		医療ケアを必要とする児童がいない。
	24	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		○		医療ケアを必要とする児童がいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		利用児が通っている関係各所と定期的にお互いに訪問しながら情報の共有を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		毎年、就学の子に対しては移行支援シートを作成し、幼稚園・保育園・保護者と連携を図っている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		専門機関が行うオンライン研修が開催される際には積極的に受 けるように努めている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		コロナ以降、交流する機会が減ってきているので「イベント」を開催して交流の場が持てるように改善に努めた。
	29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		コロナ以降、会議などへの出席を控えてきたので、今後は積極的に参加をしていく予定。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		定期的に保護者の方へ活動での様子を伝えるようにしている その際にご自宅での様子も聞き共通理解へと繋がるようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○		今後、ペアレントトレーニングを行っていけるように準備を進めていく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			丁寧な説明を行っても、実際にアンケートを取ると理解に繋がっていない部分もあるので、分かりやすい説明を行っていけるように改善していく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		支援内容の説明・確認後に署名・押印をいただいている。変更等があった場合は、その都度説明を行っている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者より相談があった場合には、その都度対応し解決に向けて一緒に考えたり、助言を行っている。	子育ての悩みなどを相談された場合は職員間で情報の共有を行うようにしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		定期的に保護者会を開催している。	沢山の保護者に参加して頂けるような魅力的な保護者会や実りのある会に出来るように保護者会の内容について今後も改善していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			今後、会報を発行することを検討中。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		どんなことが個人情報にあたるのかを定期的に職員会議の中で話して共通理解ができるようにしている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		言葉だけでなく、本人にとって分かりやすいように個々に合わせて意思の疎通が出来るように工夫している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		今年度は地域住民を招待してのイベントを開催することで地域住民との交流を図った。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		訓練については活動表に記載することと当日行った際にもお伝えするように工夫している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年度初めに訓練計画を立てて定期的に訓練を行っている。	訓練を行い際には消防の方へ届を提出して行うように改善する。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		年度初めにアンケートを実施して服薬やアレルギーなどについても確認できるようにしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		アレルギー診断を受けた子に対しては定期的な検査結果の報告を保護者へお願いして指示書があった場合には指示書に沿って対応をするようにしている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集を作成して共有をしているが、実際にヒヤリハットが起こった際にヒヤリハットに記載することを忘れてしまう職員もいるので確実に記入を行うために複数の職員で確認を行うようにしている。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。（該当する方に○を記入）